

18. 大腿骨近位部骨折患者における早期リハビリテーション開始率

算式

【分子】 分母対象例のうち、手術年月日から数えて4日以内に
「H002運動器リハビリテーション料」を算定している患者（EFファイル）

【分母】 様式1の「医療資源を最も投入した傷病名」が次のいずれかの退院患者（ICD-10：①M2435、②M2445、③S7200、④S7210、⑤S7220、⑥S7230、⑦S7270、⑧S7280、⑨S7290、⑩S730＝MDC160800）及び、当該入院期間中に「K0461（大腿）」、「K0731（股）」、「K0811（股）」のいずれかを算定している患者（EFファイル：部位はレセプト電算コードにより識別）

※分母除外項目

1. 手術後3日以内に退院した患者
2. 当該入院期間中の様式1の手術情報に異なる手術日が2日以上ある

定義

大腿骨近位部骨折の入院患者のうち、手術日から4日以内にリハビリテーションが実施された患者の割合

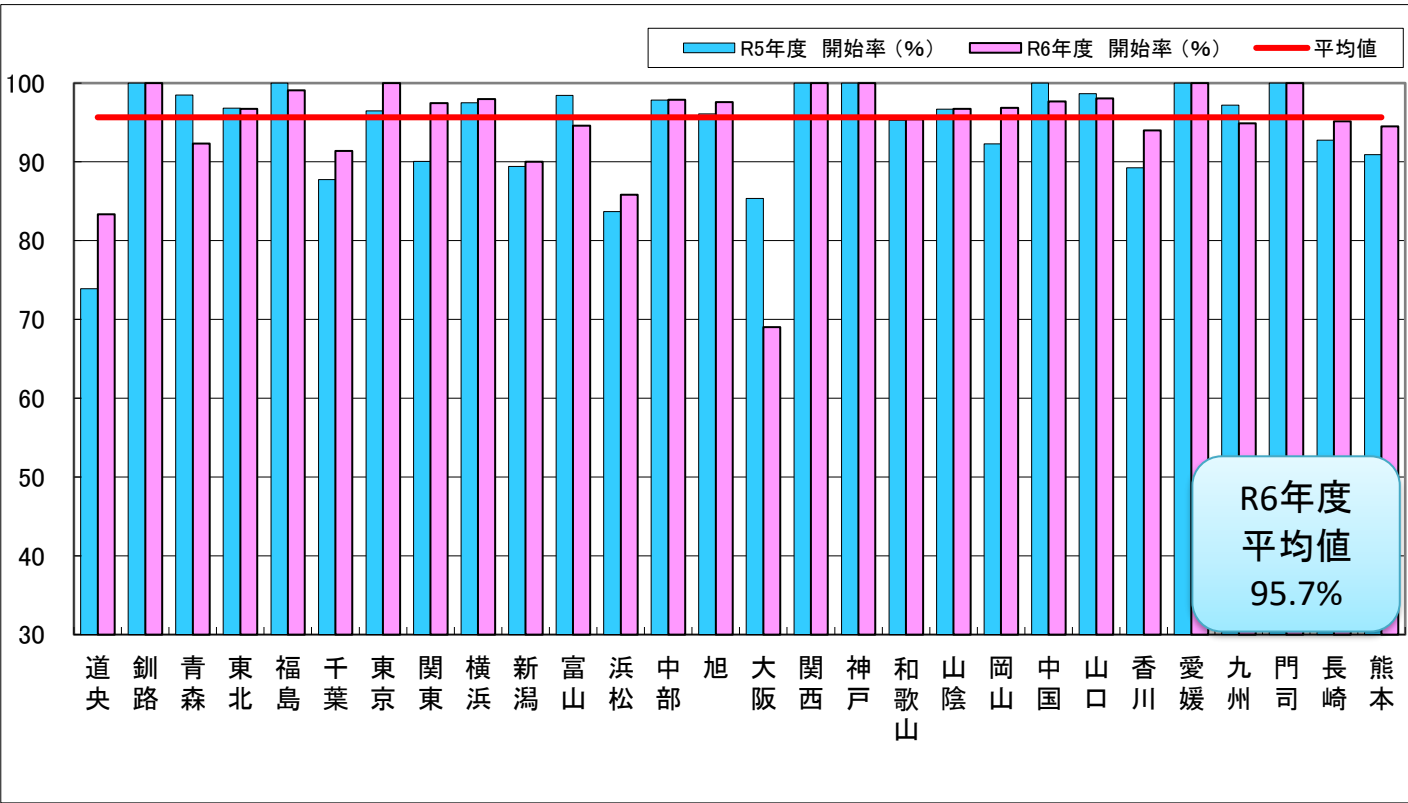
指標の解説

D P Cデータより抽出

大腿骨近位部骨折患者に対して術後速やかに座位をとらせ、早期から起立・歩行を目指して下肢筋力強化訓練を行うことにより早期回復、早期退院に向けた取組を行っている状況から評価する。

実施率が高い場合には、患者の早期社会復帰に積極的に取り組んでいると評価できる。

18. 大腿骨近位部骨折患者における早期リハビリテーション開始率



		R5年度			R6年度		
No	施設名	分母	分子	開始率 (%)	分母	分子	開始率 (%)
1	道 央	23	17	73.9	12	10	83.3
2	釧 路	70	70	100.0	62	62	100.0
3	青 森	66	65	98.5	65	60	92.3
4	東 北	94	91	96.8	92	89	96.7
5	福 島	93	93	100.0	111	110	99.1
6	千 葉	106	93	87.7	128	117	91.4
7	東 京	85	82	96.5	10	10	100.0
8	関 東	221	199	90.0	236	230	97.5
9	横 浜	120	117	97.5	148	145	98.0
10	新 潟	104	93	89.4	80	72	90.0
11	富 山	64	63	98.4	74	70	94.6
12	浜 松	141	118	83.7	141	121	85.8
13	中 部	184	180	97.8	191	187	97.9
14	旭	205	197	96.1	208	203	97.6
15	大 阪	41	35	85.4	42	29	69.0
16	関 西	51	51	100.0	59	59	100.0
17	神 戸	69	69	100.0	72	72	100.0
18	和 歌 山	127	121	95.3	174	166	95.4
19	山 陰	152	147	96.7	184	178	96.7
20	岡 山	181	167	92.3	159	154	96.9
21	中 国	234	234	100.0	215	210	97.7
22	山 口	148	146	98.6	156	153	98.1
23	香 川	65	58	89.2	50	47	94.0
24	愛 媛	49	49	100.0	35	35	100.0
25	九 州	178	173	97.2	177	168	94.9
26	門 司	37	37	100.0	64	64	100.0
27	長 崎	263	244	92.8	288	274	95.1
28	熊 本	187	170	90.9	200	189	94.5
合 計		3,358	3,179	94.7	3,433	3,284	95.7
平均	500 床 以上	108	101	92.8	121	116	95.5
	400 床 以上	134	128	95.7	133	127	95.7
	300 床 以上	147	138	94.1	159	152	95.5
	300 床 未 満	78	74	95.1	76	73	96.1